

こんにちは!

No.193
令和8年8月1日

しばた議会です

おしゃれなカフェ誘致します
総合レジャーランド誘致します
町内循環バス走らせます etc
こうなればいいな～

★6月会議

- ・未来への投資 その中身は?
- ・新議長決まる

(P2~5)

★柴田高校生との懇談会

- ・自分が町長(責任者)だったら? (P13)

表紙の写真について → 裏表紙P16



「議会ネット中継」はこちらから



資、その中身は

～町の予算は暮らしをどう変える～

しばたスマートアグリタウン 推進事業補助

3540万円



直進アシスト付き田植え機が作業を支援

しばたスマートアグリタウン推進事業補助は、国の交付金を活用し、町内の認定農業者などに対し、自動操舵トラクターや農業用ドローンなど、スマート農業機械の購入費の2分の1以内を補助する事業です。

6月会議は、6月5日から11日までの日程で開催されました。会議では、各種報告のほか、条例改正、財産の取得一般会計補正予算などを審議し、いずれも原案のとおり同意、可決しました。あわせて、14人の議員が一般質問を行い、町政の課題や今後の方向性について論戦を交わしました。

大きな田んぼは年々、凹凸が生じます。田面を均一にして、稲の生育をそろえ、雑草も抑えたいです。そして、一割の増収、一割の労力軽減を目指しています。不安な点は、機械が高額なことです。導入後は自分たち

どんな効果を期待していますか。

関心のある技術は。スマート農業と土づくりです。特に、田面を平らにする※RTKレベラーの導入を検討しています。

未来を耕す、その一歩 笠松秀峰さんに聞く



農事組合法人 桜花爛漫
代表理事 笠松 秀峰さん
(中名生在住)

法人の役割は。経営の安定とほ場管理の徹底と農村環境維持・農産物の安定供給を目指します。町への要望は。将来が見える農政の方向性を示し、持続可能な農業となるような支援をお願いします。

で点検し、維持費は自己資金で備えようと考えています。経営の課題は。若い人の雇用と米価です。若い世代に農業へ関心を持ってもらい、自信の持てる仕事にしたいです。

※ RTKレベラーとは、衛星測位技術（GNSS）と「RTK（Real Time Kinematic）測位」を活用し、農地（ほ場）の表面を数センチ単位の高精度で自動的に平らに均す（均平化する）システムのこと

今後、町内のほかの農家にも 効果が広がるのか？

この事業補助は、全額国の「地域未来交付金」を活用した事業になります。町では、ほ場整備事業を推進しており、このスマート農業を導入することにより、現在直面している農家の高齢化や担い手不足などの課題について、有効な手段になるものと期待しています。（宮武農政課長）



稲刈り後の田んぼを耕すトラクター

6月会議

令和8年度一般会計補正予算

5222万円増額

未来への投

農業・防災・地域づくり



ドローン利用で作業効率大幅アップ

コミュニティ助成事業補助金を活用し、24区の地域活動に必要な備品を整備します。エアコンの設置をはじめ、活動に役立つ備品の充実を図ることで、地域の交流や自主的なまちづくりをより力強く支えます。



備品を整え、地域の交流拠点をより使いやすく

コミュニティ助成事業補助

130万円

現在建設中の柴田町地域防災センターに設置する、防災用品などを整理・保管するためのラック（棚）の購入経費です。



完成間近な
柴田町地域防災センター



災害に備え、テント・簡易
トイレ・保存水を備蓄

柴田町地域防災センター用備品

337万円

報告第3号

令和7年度柴田町一般会計補正予算

なぜ減った

学校管理費4142万円

質疑 子どもの学びや支援に影響は。

答弁 学校の工夫や給食支援が主な理由。教育活動への影響はない。

暖房機とエアコンの使い分けや日常的な節電、節水など、学校の工夫によって燃料費や光熱水費を抑えられた。

また、給食費2か月分を交付金で支援したため、就学援助費などの給食費分が不要になったことも減額の主な理由となった。



節電時の工夫で光熱水費を抑制

なぜ?

水防費が大幅減額

質疑 消防費の中の水防費が129万5000円減ほとんど支出されていないが。

答弁 水害による出動はゼロ。消耗品のみ購入。

令和7年度の水防費は、134万6000円のうち129万5000円を減額した。

町は理由について、台風を含む水害がなく、消防団の出動がなかったためと説明。支出したのは、土のう袋の購入費5万1000円だった。



大きな水害のない1年でした

議案第2号

柴田町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が令和8年3月31日に公布されたことに伴い、柴田町税条例の規定を整備するもの。改正の主な内容は、復興特別所得税の課税期間の延長及び防衛特別所得税の創設、公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出義務範囲の見直しに伴う規定の整備など。

私はこう考える
反対 討論 賛成

増税につながる

ひろさ 眞議員

町税を適正に賦課

平間 幸弘議員

町税条例の一部改正
は国の制度変更によるものだが、変更内容の防衛特別所得税は国民の信を問わずに導入されている。

また、復興特別所得税とともに課税の期限を延長することから増税になるため反対する。

本議案は、令和8年3月31日公布の地方税法等改正に伴い、柴田町税条例を改正するものである。固定資産税の免税点変更や住宅ローン減税延長など、町税を適正に賦課するための改正と判断し、原案の通り賛成する。



出典：「令和8年度税制改革」パンフレットより

選挙管理委員の選出

選挙管理委員と補充員（各4人）が決定しました。

任期は、令和8年6月27日からの4年間。なお補充員は委員に欠員が生じた際に委員となります。

○選挙管理委員に選出

水戸 一郎氏（再任）（下名生）
相原 健一氏（再任）（西船迫）
五十嵐 眞祐美氏（再任）（北船迫）
馬場 敏雄氏（再任）（船岡西）

○補充員に選出

尾池 陽子氏（再任）（東船岡）
平間 雅博氏（新任）（槻木東）
櫻井 恵子氏（新任）（槻木上町）
小泉 厚氏（新任）（船岡字七作）



左から五十嵐氏、水戸氏、相原氏、馬場氏

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

可決

 反対 3人
賛成 12人

意見書

本議会は令和3年6月11日、個人の尊重・ジェンダー平等・少子化対策・生産性向上等の観点から、選択的夫婦別姓の法制化を行うことを国会及び政府に求める意見書を提出していますが、このほど改めて、現行の民法750条及びこれに基づく事務規定を速やかに改正し、選択的夫婦別姓制度を導入することを国会及び政府に強く求めます。

記

個人の尊重・ジェンダー平等・少子化対策・生産性向上等の観点から、選択的夫婦別姓制度の法制化を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和8年6月11日
提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
法務大臣

反対討論

家族の絆

安藤 義憲 議員

選択的夫婦別姓は夫婦間、親子間において家族観が壊れてしまう。生まれ来る子は自分で氏・姓が選べない。親の都合で氏・姓が決まってしまう。子どもの人権が無視されてしまうことから選択的夫婦別姓に反対する。

行政の負担を懸念

小田部峰之 議員

家族の一体感を支える夫婦同姓の歴史や、戸籍管理の複雑化・膨大な財政負担を懸念する。当事者の声を直接聴くなど慎重な議論と国民的合意が不可欠。個人の利便性のみで社会秩序を揺るがす意見書提出には反対する。

町民の声の把握不足

大橋 武彦 議員

改姓の不便も理解できる。長く使った氏も大切。だが、氏は家族にも及び子供の氏も整理が必要で、行政の課題もある。町民の声も把握不足。通称使用の拡大は進めるが、国民的議論で見極めたい。よって現段階では反対する。

賛成討論

選択の自由

平間 康弘 議員

選択的夫婦別姓は、同姓を望む人の権利を守りながら、別姓を望む人にも選択の自由を認める制度である。まさに多様性を認め合う社会の実現に資するもので、選択的夫婦別姓に賛成する。

議論の促進を求める

笠松 均 議員

選択的夫婦別姓は同姓も別姓も選べる制度であり、家族の絆は姓ではなく思いやりに宿るとして、国に議論促進を求める本請願への賛同を表明する。

新たな家族のあり方を

吉田 清 議員

若者の約9割が賛成している選択的夫婦別姓は、家族の崩壊を招くものではなく、互いを尊重し合う新たな家族のあり方を求める声である。国際社会の潮流や時代の変化から取り残されることのないよう、賛成に同意する。

国会で議論を

吉田 和夫 議員

日本では夫婦同姓が義務付けられているが、選択的夫婦別姓は夫婦が望むなら、別々の姓も認めるという制度である。柴田町から国会で議論が始まるよう働きかけたい。

平間奈緒美議員が 新議長に選出されました

議長選挙所信表明

議会改革は歴代議長や先輩方の不断の努力で築かれ、議会の力は多様な経験と地域への思いを持ち寄り、議論を重ねることで発揮されます。私はその歩みを継承し、発展させ、対話を重んじ、聞く力を大切にするチーム議会を目指して運営に努めていきます。



一般質問

我が町政を問う

議員17人のうち14人が質問し、町に対し提案などを行いました

「一般質問」という言葉を聞いたことはありますか？ これは、議員が町政全般について、進捗状況を確認したり、新しい提案を行ったりするものです。いわば、町民の皆さんの「ギモン」や「願い」を町長に直接質問する大切な時間です。

大橋 武彦 議員

P7

24年の町政総括と教育投資を問う

吉田 清 議員

P7

選挙事務に従事する職員の負担は
●滝口町政24年の総括を問う

吉田 謙治 議員

P7

町の歴史資源を生かす取組を問う

笠松 均 議員

P8

災害対策の抜本的強化を

佐々木裕子 議員

P8

滝口町政の歩みと今後の柴田町は

小田部峰之 議員

P8

スロープカー更新に向けた取組は

吉田 和夫 議員

P9

高齢者に補聴器購入の助成を

平間奈緒美 議員

P9

しばた桜まつりの検証を問う

白内恵美子 議員

P9

林野火災を想定した避難訓練を
●浸水センサ実証実験の現状は

平間 康弘 議員

P10

居住誘導区域に人を集める施策は
●滝口町長の「町政だより」を問う

高橋たい子 議員

P10

環境美化条例をどう生かすか

広沢 真 議員

P10

桜の害虫（特定外来生物）対策を

平間 幸弘 議員

P11

町道四日市場1号線の全体計画は
●桜まつりの車両規制とその対応は
●滝口町政24年の総括を

大坂 三男 議員

P11

滝口町長の7選不出馬を問う



Q 24年の町政総括と教育投資を問う

A 町を支える人づくりを次代へ託す

おおはし 大橋 たけひこ 武彦 議員



町を知り、町の未来を
考える子どもたち

- 問** 6期24年の成果と、今後の課題や引き継ぐべき最大の町政課題は何か。
- 答** 住民自治による自立の精神が成果。住民の一方通行の要求が課題である。
- 問** 町政だよりの強い表現に込めた真意は。
- 答** 夢を否定する意図はなく、財源不足の現実を共有する趣旨。表現は厳しかったかもしれない。
- 問** 真の教育投資とは、ハコモノだけではなく、教材を生かす「心」の育成ではないか。
- 答** 環境整備に加え、中学生の地域貢献学習を支援中。
- 問** 財政難の時代こそ、未来を担う「人」を育てる視点を引き継ぐべきでは。
- 答** 人的支援や地域との学びも含め、子どもの可能性を引き出す。また、今後子ども議会などを通じ、町を担う人材を育てていく。



よしだ 吉田

きよし 清 議員



Q 選挙事務に従事する職員の負担は

A 過度の負担がないよう努める

- 問** 令和8年7月12日執行の町長選挙及び町議会議員補欠選挙について、職員の長時間労働や事務処理の重圧など、現場が抱える精神的・肉体的負担をどのように認識しているか。
- 答** 配慮が必要な職員や業務多忙な職員は選挙事務から外すよう選挙管理委員会と調整し、負担軽減に努めている。
- 問** 現在の開票事務に従事可能な職員の確保状況や実態はどのようなになっているか。
- 答** 子育て中や体調面で不安のある職員は従事させない。以前は経験者を優先していたが、若手職員が対応できることが判明したため、職員の配置について特に問題はないと考えている。
- 問** 職員不足の際、会計年度任用職員の雇用も検討しているか。
- 答** 公務員としての自覚を常に持った正職員で担うことを基本としている。



大切な一票を守る職員
(AI画像)

Q 町の歴史資源を生かす取組を問う

A 調査・研究を進め検討を行う

よしだ 吉田 けんじ 謙治 議員



伊達政宗公側室
「お山の方」の木像

- 問** 四保館（現在の船岡城址公園）で生誕し、伊達政宗公の側室となった「お山の方」（柴田宗義の娘）を町のブランド推進事業の一つとして活用することはできないか。
- 答** 詳しくわからない部分が多いため、調査・研究を進める。
- 問** 仙南地域にゆかりのある「お山の方」（柴田町）「伊達宗高（村田町）」「牟宇姫（角田市）」をテーマとした広域連携イベントの実施を検討できないか。
- 答** 仙南地域共同でイベントなどの実施が検討できないか働きかけを行っていく。
- 問** 仙台市が進めている伊達政宗公没後四百年の大河ドラマ誘致に向けた、町としての取組はあるのか。
- 答** お知らせ版、ホームページでの署名活動の協力依頼のほか、どんな取組ができるのかを検討する。

Q 災害対策の抜本的強化を

A 防災・減災対策を進めていく

かさまつ
笠松

ひとし
均
議員



令和8年5月から
新たな防災気象情報へ

問 町民が安心して暮らせる地域をつくるために、今後の具体的な施策などについて町の見解を伺う。

答 町ではこれまで、「災害に強いまちづくり」の実現に向け、ソフト・ハード両面から住民の不安解消に努めてきた。具体的に、ソフト面では、地域の危険性を把握していただくため、外水・内水ハザードマップをそれぞれ作成し、全戸配布を行ったほか、避難所における備蓄品の増強を進めてきた。ハード面では、防災拠点となる「町総合体育館」の整備、雨水常襲地帯の西住地区において、総事業費52億円を投じた「鷺沼5号調整池」の整備など多角的な整備を実施してきた。行政による「公助」のみでは限界があり、「自助」「共助」の重要性をご理解いただきたい。

ささき ゆうこ
佐々木裕子
議員



Q 滝口町政の歩みと今後の柴田町は

A これからも発展を続ける



問 町長ご自身が最も重視してきた行政理念とその成果は。

答 私の政治姿勢として、威張らず、おごらず、親しみやすさを肝に銘じて、庶民派の町長として町政運営を行ってきた。また、政治力に頼った我田引水型の政治スタイルとは一線を画し、小さな予算、エビで大きなタイを釣る、そういう政策手法を徹底してきた。

問 今後の行政のトップに求められる資質や姿勢とは。

答 一つに、社会の変化に対応した課題解決に向けた政策立案力。二つに人を動かす組織マネジメント力や人脈、そして議会との調整能力。三つに財政のことが良くわかり、国や民間企業の資金を引き出せる資金調達力。新たにトップになる方には、しっかりとリーダーシップを持って、職員や住民の力を引き出してほしい。



独自の政策で発展へ

Q スロープカー更新に向けた取組は

A 効果的な広告宣伝を検討する

おたべ みねゆき
小田部峰之
議員



オリジナルのアクリルスタンド

問 アクリルスタンドなどのグッズ販売の反響を踏まえた今後のファンづくりの展開は。

答 来年3月の新車両完成に合わせた記念グッズなどの制作・販売について、観光物産協会と検討する。

問 単なる車両更新にとどめず、インバウンドをも呼び込む町の観光の起爆剤とするための具体的な戦略は。

答 リニューアルオープンに向けては、インパクトのあるオープニングセレモニーの開催や、運行前における町民やマスコミの試乗会等の実施や事前PRなど、期待を向上させる取組を検討していく。運行後は、回数券やポイントカードなど乗車回数に応じた特典の付与、車両の運転体験、1日車掌体験、町民や子供向けに乗車無料の日を設けるなど、親しみや愛着の持てるような取組を検討している。

Q 高齢者に補聴器購入の助成を

A 効果を考慮し継続して検討する

よしだ かずお
吉田 和夫
議員



補聴器で介護予防へ

問 県内でも助成している市町村が増えている理由は。

答 県内では4市4町で補聴器購入費を助成している。

耳が聞こえにくくなると、認知症を発症するリスクが増加するなど、介護予防に資することへの関心が高いと認識している。

問 本町の高齢者で難聴と思われる人数を把握しているか。

答 本町の人口統計に当てはめると、75歳以上6千411人のうち、約4千730人が「軽度以上の難聴」という推計値になる。

問 高齢者を対象に、補聴器購入の助成はできないか。

答 加齢性難聴の補聴器購入費助成については、県内で実施している市町村の内容や実績などについて調査・研究を進め、事業実施のための財源の確保や介護予防への効果を考慮しながら、継続して検討していく。

ひらま なおみ
平間奈緒美
議員



Q しばた桜まつりの検証を問う

A おもてなしの向上に努める



問 来訪者の満足度及び課題について、町はどのように把握・分析しているか。

答 本町の桜に対する認知度は格段に上がったと自負しているが、さらなる認知度アップの必要性を感じている。

問 人の流れを呼び込めず、出店者が苦勞した新設出店エリアの検証について、町の見解は。

答 出店者の方々のご意見などを伺いながら、人の流れを考えた動線、分かりやすい案内表示を検討していく。

問 おもてなしの質を確保するための職員の引継ぎや研修は。

答 桜まつり前に、おもてなし研修を実施するとともに、期間中は業務日誌による情報共有と迅速な対応を行い、おもてなしの質の確保と向上に努めている。今後、職員と町民が丸となり、「花のまち柴田」のブランド化を目指していく。



さらなる認知度向上へ

Q 林野火災を想定した避難訓練を

A 自主防災組織の避難訓練を支援

しらうち えみこ
白内恵美子
議員



たき火をする時は
消防署への届出を

問 仙南地域広域消防本部は、令和8年3月から「林野火災注意報・警報」の運用を開始した。町内で発令された回数は。

答 林野火災注意報は4回。

問 町民への周知状況は。

答 周知していなかった。

問 注意報・警報下における火の使用制限などの住民周知は。

答 令和9年1月からはメールや公式LINEを活用し、リアルタイムでの注意喚起に努める。

問 西船迫団地は三方を山で囲まれており、林野火災発生時には、住民の避難が必要だが、優先避難所は使用不可ではないか。

答 使用不可の可能性も否定できない。二次避難所の船迫小学校、船迫こどもセンター、柴田高校など柔軟な開設を検討する。

問 今後、林野火災を想定した避難訓練の実施を提案する。

答 自主防災組織への迅速な情報伝達や避難訓練を支援する。

Q 居住誘導区域に人を集める施策は

A 公共施設、幹線道路整備等の施策

ひらま
平間

やすひろ
康弘
議員



将来のための居住誘導

- 問** 居住誘導するための国からの支援施策は。
- 答** 本町が現在進めている都市構造再編集中支援事業は、公共公益施設の整備や居住誘導に集中的な支援を行う事業である。
- また、災害リスクの高い区域から居住誘導区域内に移転する対象者を支援する住居誘導促進事業といった支援メニューも設けている。
- 問** 本町として独自の居住誘導支援を検討しているか。
- 答** 長期にわたり居住を誘導するための施設整備や法規制などの見直しを実施しているもので、現時点では具体的な支援は考えていない。
- 問** 四日市場1号線や新米通線の延伸計画は、居住誘導に繋がる整備なのか。
- 答** ネットワーク整備を進めることは民間住宅投資につながるため、居住誘導には有効である。



たかはし
高橋たい子
議員



Q 環境美化条例をどう生かすか

A 地域の団体と町が美化促進する

- 問** 環境美化条例が掲げる美化推進に関わる、現在の取組は。
- 答** 条例制定と同時に設立した協議会は解散し、現在は環境指導員が清掃をはじめ美化活動を行っている。
- 問** 指導員と地域が連携した勉強会などを通して、環境美化を広めていく考えはないか。
- 答** 行政区からの要請があれば可能である。
- 問** 勉強会を実施した際、報告書は1回の活動報告書とすることは可能か。
- 答** 報告に含めることは、可能と考える。
- 問** 形骸化した条例の廃止や、現行制度との統合・改正も視野に検討すべきではないか。
- 答** 条例の改正・廃止は今後検討していく。



環境保全意識を高めましょう

Q 桜の害虫（特定外来生物）対策を

A 情報共有と対策を広めていく

ひろさわ
広沢

まこと
眞
議員



発見したら通報を！

- 現在、国内の17都府県で、桜に被害をもたらす特定外来生物クビアカツヤカミキリが生息域を広げている。桜を町の資源としている柴田町にとって要警戒だと考える。
- 問** 町内におけるクビアカツヤカミキリの情報は。
- 答** 白石川の桜の点検では確認されていない。
- 問** 対策は考えているか。
- 答** 現在対策は行っていない。今後ホームページなどで注意喚起を行っていく。
- 問** 栃木県まで入ってきているが、順番に入ってくるわけではない。具体的な対策が必要ではない。具体的な対策が必要ではない。
- 答** 広く情報を広めて、町民や学校の子どもたちにも監視の目を持てるよう呼びかけるとともに、町民の間での桜の育成・保護の意識の醸成に努めていく。

Q 町道四日市場1号線の全体計画は

A 令和15年度内の供用開始を想定

ひらま 平間 幸弘 議員



改良工事を計画中

岩沼方面へのアクセス道路として重要な町道四日市場1号線ほか2路線の道路改良工事について、全体計画と今後の見通しを問う。

問 完成の用途は。

答 現在は宮城県と河川協議中で、用地買収に1年、軟弱地盤対策に2年、橋りょう工事に4年などを見込む。重複施工を考慮し、用地買収から完成まで約8年を要することから、令和15年度内の供用開始を想定する。

問 上槻道踏切から北側区間の道路拡幅や安全対策の計画は。

答 当該区間は国の交付金採択条件である通学路の指定を受けていないため、現時点で拡幅等の計画はない。しかし、供用開始後においては交通量の変化を注視しながら、道路拡幅などについて検討していく。



おおさか みつお 大坂 三男 議員



Q 滝口町長の7選不出馬を問う

A おおむね公約は実現できた

問 24年前の公約と今の評価は。

答 住民本位の3町合併の推進や福祉サービス充実のための老人ホームの増設とデマンドタクシーの運行、新図書館建設と学校教育環境の整備、女性の審議会登用率50%達成など6つの公約を掲げた。しかし、3町合併と女性の審議会登用率50%は達成できなかったが概ね実現した。

問 思いどおりにならなかったことは。

答 一つに3町合併協議が本庁舎の設置箇所で2度破綻して実現しなかったこと。二つ目にはばた千枝橋の建設時に、無駄だと反対運動が起きたこと。三つ目に図書館と体育館の計画時に推進派間で議論があったこと。

問 24年間の町政運営で心がけてきたことは。

答 威張らず、おごらず、親しみやすい庶民派の町長として職員と共に町政を運営してきた。



工事が進む新図書館

新・柴田町議会議員の紹介

議員としてどうしたい？

〇町民の皆様の思いに応えられる活動
町民主役のまちづくりを基本に、皆さまの声に真摯に耳を傾け、子育て世代をはじめ誰もが安心して暮らせる柴田町を目指し、誠実に取り組んでまいります。



ひらま 俊博 議員
(槻木西在住)

議員としてどうしたい？

〇町民に寄り添う活動
人と自然に寄り添い、まちのすべてに寄り添う。限られた予算を大切に使い、町民の皆さんが町に寄り添いたくなる、そして「寄り添ってもらえる」と感じられるやさしい柴田町を目指します。



やまもと 山本ゆかり 議員
(船岡西在住)

柴田町議会議員の欠員に伴う補欠選挙が7月12日に執行されました。新たに2人が議員となりましたので紹介いたします。
なお、新たな議員の常任委員会などの配属は8月3日開催の会議で決定します。

議員
研修会

6月18日(木)

「議会プロフィール」で考える
柴田町議会のこれからの在り方講師：柴田町議会アドバイザー さとう あつし
青森大学 社会学部教授 佐藤 淳氏

柴田町議会のあり方について研修

柴田町議会基本条例第27条に基づき、議会ではこれまで2年ごとに条例の達成度を検証し、行動計画を策定・実践してまいりました。

しかし、議会改革が進んだことで従来の評価基準では成果が頭打ちとなり、現在の状況に合わせた見直しが必要となっています。

そこで今回、新たな評価基準として日本生産性本部の「地方議会評価モデル」を採用し、第三者評価を行動計画に反映させるための研修会を開催しました。研修では、その指標となる「議会プロフィール」の作成方法と、今後の発展的な取組として「生成AI」の議会での活用について学びを深めました。



柴田町議会基本条例はこちらから⇒

私たちの議会を「見える化」する！「議会プロフィール」と評価の仕組み

みなさんは、柴田町議会が普段どのような体制で、どれくらい活動しているかご存じですか？

これらを「見える化」した、いわば議会のカルテが「議会プロフィール」です。

ここには、①議会に期待される役割使命、②議会が実現すべき理想的な姿、③現在の姿、④今後の議会を取り巻く社会環境の変化、⑤これから取り組むべき課題などについて詳しく記されます。

そして、このデータを使って「議会がしっかり機能して

いるか」「住民の皆様への情報公開や対話が十分にできているか」を客観的にチェックする仕組みを「議会プロフィールを用いた評価手法」といいます。

全国の議会との比較や、過去の自分たちとの比較（自己診断）に活用されており、これを行うことで、議会の「良い点」や「これから改善すべき課題」がハッキリと見えてきます。

議会をただの話し合いの場にせず、常にアップデートし、より良い柴田町をつくるための強力なツール。それが、議会プロフィールを使った評価の取り組みです。

【柴田町議会基本条例】チェックシート(令和5-6年度) 令和5年度 実施状況・実績確認済 R2.2.10 議定 評価及び課題確認済

【評価の凡例】 A: 達成された(7割以上) B: 一部達成された(5割程度) C: 今後努力を要する(3割未満) - : 今回は評価できない項目			
前文	実施状況	実績	評価
第1条 (目的)	… 町民生活の向上と町政の発展		
第2条 議会及び議員の活動目標			
第3条 (議会の活動目標)	実施状況	実績	評価
○町政運営の監視、検証、評価	監視 検証 評価	(監視) 常任委員会等事務調査、一般質問 (検証) 議会だより(記録記事)、予算決算審査 (評価) 決算書検閲(議員)における令和5年度各議会計決算の検証に付いて、主な事項について、町議会(町)令和5年度各議会計決算の検証に付いて検証すべき事項を取りまとめた。	A
○政策立案及び政策推進	政策立案 政策推進	(政策立案) 実績なし (政策推進) 令和5年度予算執行にあたっての政策事項 令和5年度予算執行の進捗状況の調査 令和5年度各議会計決算の調査を踏まえた政策事項 令和5年度各議会計決算の検証に付いて検証すべき事項 令和5年度各議会計決算の検証に付いて検証すべき事項 柴田町太田の村についての調査書	B
○公正性、透明性、信頼性の確保	公正性 透明性 信頼性	(公正性) 政治倫理条例の遵守 (透明性) 議会の開会の公表(議会だより、ホームページ) 議会の開会の公表(議会だより、ホームページ) 議会の開会の公表(議会だより、ホームページ) 議員紹介のショート動画配信(YouTube) SNS(Facebook, Instagram)での情報発信 (信頼性) 災害対策本部にメールに基づき、議会の防災訓練の実施 災害対策本部にメールに基づき、議会の防災訓練の実施	A
○多様な市民意見の把握と政策形成への反映	多様な市民意見の把握 政策形成への反映	(把握) 議会懇話会(一般懇話会、団体懇話会、高校生との懇話会)の実施 政策形成委員会として、議員(議員)の意見のアンケート調査を実施 議員紹介のショート動画配信(YouTube) (反映) 議会懇話会(一般懇話会、団体懇話会、高校生との懇話会)の実施 政策形成委員会として、議員(議員)の意見のアンケート調査を実施 議員紹介のショート動画配信(YouTube)	A

現在の評価方法は、**A**：達成された(7割以上)、**B**：一部達成された(5割程度)、**C**：今後努力を要する(3割未満)、**-**：今回は評価できない項目として評価し、未達成の項目については次期の改善項目として取り上げている。



地元の柴田高校生29人と議員15人

7月9日(木)

懇

談

会

テーマ：自分が町長(責任者)だったら

平成28年から継続してきた柴田高校生と議員との懇談会は、今回で12回目を迎えました。
今年も「公民」を選択の3年生の皆さん29人と懇談し、高校生の率直な意見を聞くことができました。

これまでの開催日とテーマ 一覧

開催日	テーマ
H28. 7. 7	柴田町の20年後の未来を考えよう！！
H29.10.27	若者が地域に戻りたくなる町
H30. 7.10	20年後も住みたいまち、戻ってきたいまち
R 1.12.27	20年後も住みたいまち、戻ってきたいまち
R 3. 1.25	コロナ禍での学校生活、部活動はどう？
R 3. 7. 3	まもなく卒業 Withコロナの高校生活(部活動)はどうだった？
R 4. 1.21	コロナ禍での高校生活 期待(想像)していた高校生活とは違っている…？
R 4. 7.22	住み続けたいまちって…？
R 5. 7.21	住み続けたい町って？
R 6. 7.12	10年後も住み続けたいまち
R 7.10. 3	20年後も住み続けたいまち ～あなたが市町村長だったら(どんなまちづくりをする)～
R 8. 7. 9	自分が町長(責任者)だったら



今年も高校生の貴重な意見を聞くことができました

懇談1 自分が町長(責任者)だったら何をしたい？

高校生たちがまちの未来や日々の生活を豊かにするために提案した、主な「やりたいこと(政策アイデア)」の要約です。

- 観光・地域ブランディングの強化
- 子育て・教育環境の刷新
- 若者・子どもの居場所と活躍の場づくり
- 都市インフラの整備と商業・娯楽施設の誘致
- 道路・交通安全と防犯の徹底



出された意見の情報共有

懇談2 したいことを実現させるためにはどんなことをする？

懇談1の理想やアイデアを「どうやって実現するか」について、生徒たちが知恵を出し合った具体的・実践的な解決策の要約です。

- 事前のインフラ・土地整備：企業を呼び込むためには、まず先に高速道路などのアクセス環境（インフラ整備）を整え、受け皿となる土地をしっかりと確保する。
- 「桜まつり」などの大規模イベント時に限定して臨時バスを走らせる。そこで実績を重ねながらバス会社との間に段階的な「信頼関係」を築き、将来的な本格運行や路線化へつなげる。
- イベント実行委員会に中高生をメンバーとして正式に招き入れ、大人の発想にはない「新たな視点や斬新なアイデア」をイベント企画に反映させる。
- みんなで祝福する仕組みとして、結婚したカップルを広報誌などに掲載し、町民みんなでお祝いできるアットホームな機運を作る。
- 安全の見える化と巡回強化：街頭防犯カメラの設置数を増やし、安全パトロールや警察による巡回（特に自転車盗難対策など）を徹底して強化する。

本会議審議結果及び出欠状況



令和8年度柴田町議会6月会議 議案等審議結果一覧

詳しい審議結果はこちら→

件名	議決月日	表決者数 賛成	賛成 成	議決結果	吉田 謙治	大橋 武彦	平間 康弘	笠松 均	吉田 清	小田部 峰之	欠 員	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	大坂 三男	平間 奈緒美	佐々木 裕子	高橋 たい子	広沢 真	白内 恵美子	吉田 和夫	石森 靖明
柴田町選挙管理委員及び補充員の選挙	6月10日	16	16	指名選挙	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
柴田町町税条例の一部改正	6月10日	16	14	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	否	否	○	議
柴田町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例等の一部改正	6月10日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
柴田町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	6月10日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
財産の取得（小型消防ポンプ付軽積載車）	6月10日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
和解及び損害賠償の額を定めること	6月10日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和8年度柴田町一般会計補正予算	6月10日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
令和8年度柴田町介護保険特別会計補正予算	6月10日	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書	6月11日	15	12	原案可決	○	否	○	○	○	否	—	否	○	○	○	議	○	○	○	○	○	—

※「○」は賛成、「否」は賛成の意思を表さないことを表す。
※「議」は表決時に議長のため、また「—」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。



令和8年度柴田町議会6月会議 出欠状況一覧

詳しい審議結果はこちら→

区分	件名	月日	表決者数 出席	吉田 謙治	大橋 武彦	平間 康弘	笠松 均	吉田 清	小田部 峰之	欠 員	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	大坂 三男	平間 奈緒美	佐々木 裕子	高橋 たい子	広沢 真	白内 恵美子	吉田 和夫	石森 靖明
本会議	町政報告、専決処分報告、議案説明、一般質問	6月5日	17	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	6月8日	17	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	6月9日	17	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問、議案審議	6月10日	17	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見書、請願、陳情	6月11日	17	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

ようこそ柴田町へ 議会視察を受け入れました

視察テーマ ～子ども議会～

2つの自治体から、本町の実施する「子ども議会」に対する視察を受け入れました。
本町の「子ども議会」は、単なる議事進行の擬似体験にとどまらず、子ども議員からの質問を事前に受け付け、担当各課での答弁書原案の作成や町長レクチャーを実施し、当日はすべての課長等が出席するなど、実際の町議会に準じた本格的な子ども議会として開催しています。

宮城県涌谷町議会 様

令和8年6月30日



秋田県北秋田市議会 様

令和8年7月22日



総務

常任委員会

活動テーマ

地域防災・減災力の向上

活動状況 各課事業の内容と執行状況を確認。
活動テーマに基づいて各所管課から聞き取り調査を行った。

調査結果〈総務課〉

選挙の投票率向上のため、学生の投票立会人登用や商業施設での選挙啓発を提案。

調査結果〈まちづくり政策課〉

生成AI活用やLINEによる町の情報発信を強化すること。

地域おこし協力隊の定住・地域貢献を重視した採用を求める。

調査結果〈町民環境課〉

空き家増加を踏まえ令和8年度内の空家等対策計画の策定に努めること。



(AIイメージ画像)

調査日：令和8年5月18日、19日

所管課：総務課・財政課・まちづくり政策課・税務課・会計課・町民環境課

文教厚生

常任委員会

活動テーマ

民間活力の積極的活用について

活動状況 各課事業の内容と執行状況を確認。
活動テーマに基づいて各所管課から聞き取り調査を行った。



調査結果〈教育総務課〉

学校施設の計画的な維持管理による長寿命化と教育環境の充実に努めること。

調査結果〈健康推進課〉

5歳児健診の円滑な実施体制整備に努めること。

調査結果〈スポーツ文化振興課〉

休日部活動の地域展開については、地域クラブへの完全移行を推進すること。

社会教育施設の指定管理者制度導入について、地域理解を深めながら具体的な検討を進めること。

調査日：令和8年5月11日、12日

所管課：教育総務課・福祉課・健康推進課・スポーツ文化振興課・子ども家庭課

産業建設

常任委員会

活動テーマ

効率的なインフラ整備を

活動状況 各課事業の内容と執行状況を確認。
活動テーマに基づいて各所管課から聞き取り調査を行った。

調査結果

各課の事業内容については、活動テーマに基づき今後も引き続き注視していく。



スロープカー軌道下部工事

調査日：令和8年5月13日、14日

所管課：商工観光課・上下水道課・都市建設課・農政課・農業委員会

槻木グラウンド・ゴルフ愛好会

過去、現在、未来に至るまで

槻木グラウンド・ゴルフ愛好会は、私で5代8年目の会長になります。前任会長のお話によると、当初は70名以上の会員で構成されていました。

現在は男性12名、女性3名、合計15名です。近年メンバーも急に減少しました。少ないながらも全員協力しあって、「明るく楽しいプレーをしましょう」で実施しています。少子高齢化とは言え、何とかこの伝統を継続して頂きたいと願っています。

週3回(月、水、金の午前中)、場所は阿武隈川グラウンドで練習会及び記録会を実施しています。平均年齢84歳です。個人プレーですので気楽に参加できます。

お近くにお越しいただきました折には、是非、お立ち寄りください。心からお待ちしております。



サークル紹介

町内で活動しているサークルを紹介します



活動日時：毎週 月・水・金 8:30頃から

活動場所：阿武隈川グラウンド

お問い合わせ先：

代表 古山 勝義

TEL 0224-56-4406

議会広報常任委員会
委員長 小田部峰之
副委員長 大橋 武彦
委員 吉田 謙治
委員 平間 康弘
委員 笠松 均
委員 吉田 清
委員 平間 幸弘

編集を終えて
連日、厳しい暑さが続いておりますが、皆様におかれましては熱中症には十分にお気を付けてください。
さて、本町では新しい町長が就任し、議会には新たに2名の議員が補充され、新体制でのスタートを切りました。長引く物価高騰などの影響により、将来への不安も募る昨今ですが、町民の皆様の安心・安全な暮らしを守るため、今後も活発な議論を交わし、信頼される議会、より良い町づくりを目指して取り組んでまいります。
(吉田 清)

柴田高校生との懇談会



今回、出された意見は議会で仕分けしてフィードバックします。手応えのある懇談会に。

9月会議の予定

9月会議は **9月1日(火)**
午前9時30分開会予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

議会からの情報発信

柴田町議会の活動を発信しています。ぜひご覧ください。



このしばた議会だより193号は、約16,800部作成しています。1部当たりの経費は約85円です。